

京都市感染症発生動向調査 感染症週報

2023年第25週（6月19日～6月25日）

京都市感染症情報センター（京都市衛生環境研究所）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/41-6-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆ 今週のコメント

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は本市4.91（前週4.64）で微増、全国は6.13（前週5.60）と増加しています。
小児科定点把握感染症の定点当たり報告数は、ヘルパンギーナが4.33（前週4.42）で、前週よりやや減少したものの、引き続き報告数が多いため注意が必要です。他の小児科定点把握感染症は、大きな変化はみられません。

◆ 主な定点把握感染症の報告状況（5類感染症）

定点種別	定点数	感染症名	定点当たり報告数		
			今週	前週	前々週
インフル/COVID19	69	インフルエンザ	0.45	0.30	0.43
		新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	4.91	4.64	4.16
小児科 (多い順に5位まで)	43	1. 感染性胃腸炎	4.81	6.56	6.74
		2. ヘルパンギーナ	4.33	4.42	3.58
		3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.84	2.70	2.44
		4. RSウイルス感染症	1.07	1.49	1.86
		5. 咽頭結膜熱	0.77	0.56	0.37
眼科	10	流行性角結膜炎	0.20	0	0.10

定点把握感染症の詳細は次ページ以降に掲載しています。

◆ 全数把握感染症の報告状況（第24週以前の追加報告分を含みます）

2類感染症 結核 4例（本年累積106例）

今週追加4例内訳（肺結核2例、その他結核0例、潜在性結核感染者2例）うち喀痰塗抹陽性0例

本年累積106例内訳（肺結核46例、その他結核26例、潜在性結核感染者34例）うち喀痰塗抹陽性15例

3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1例（本年累積14例）

4類感染症 日本紅斑熱 1例（本年累積2例）

4類感染症 レジオネラ症 1例（本年累積10例）

5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1例（本年累積11例）

5類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例（本年累積5例）

5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1例（本年累積15例）

5類感染症 梅毒 1例（本年累積53例）

5類感染症 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例（本年累積2例）

5類感染症 薬剤耐性アシネトバクター感染症 1例（本年累積1例）

◆ 今週のトピックス：梅毒

大都市では、昨年以降顕著に梅毒の発生が急増しています。

2022年の全国の報告数は、1999年に感染症法に基づく発生動向調査が始まって以来、最も多い13,225例でした。詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 次ページ以降の内容

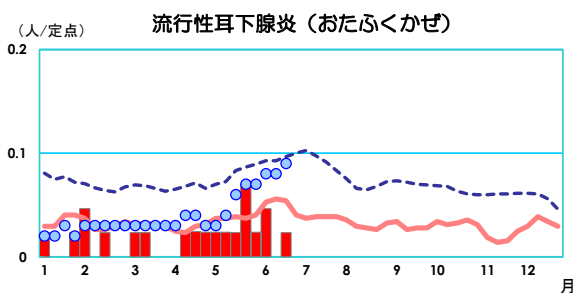
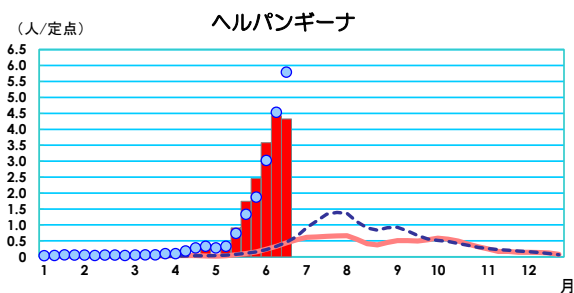
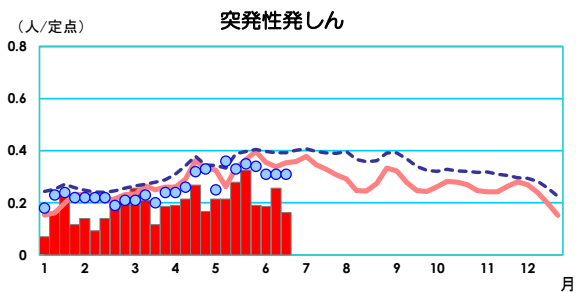
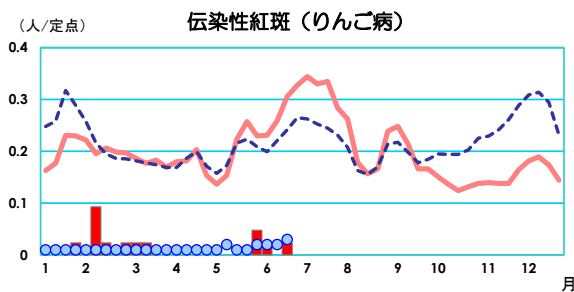
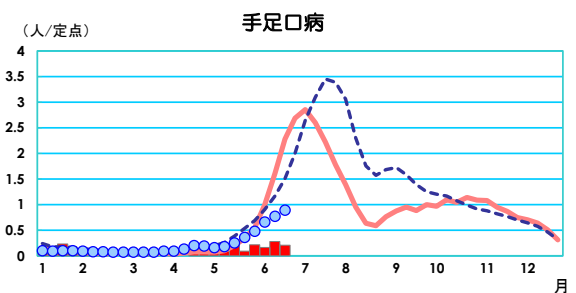
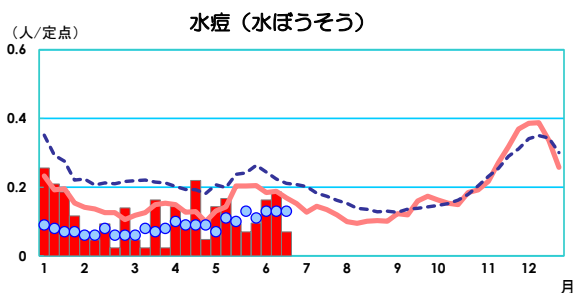
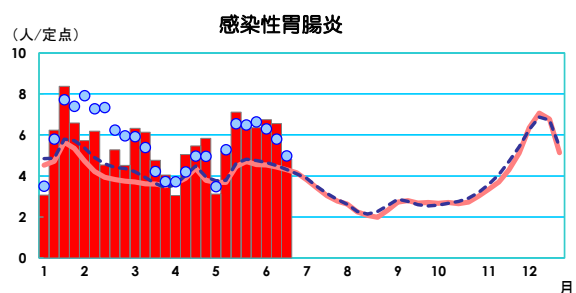
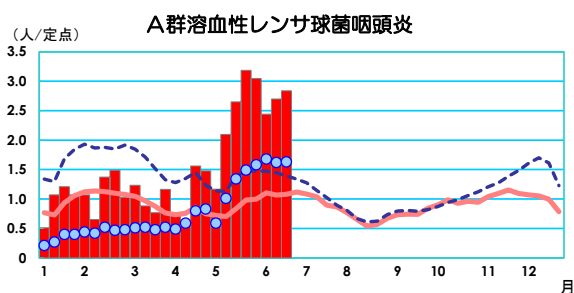
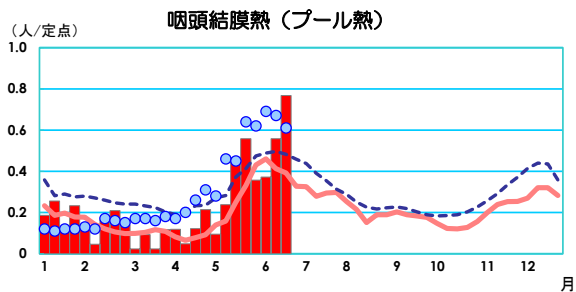
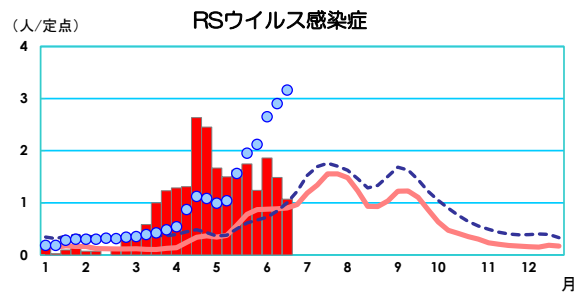
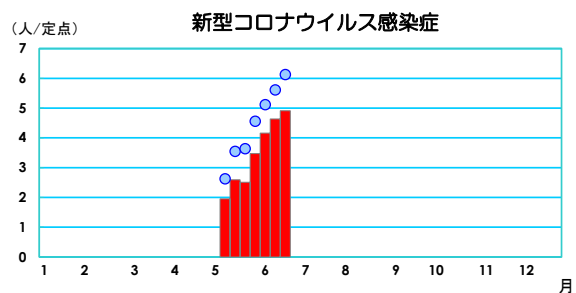
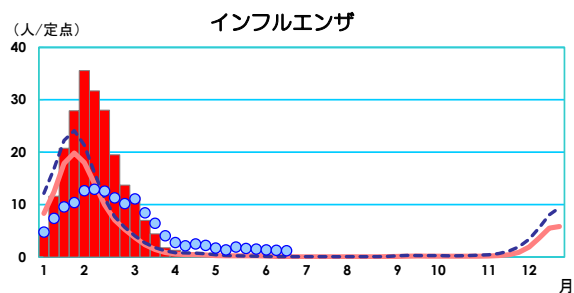
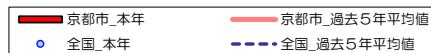
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の疾病別推移グラフ
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の発生状況地図
- ・全数把握感染症の感染症別月別発生状況
- ・トピックス
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の行政区別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の年齢階級別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の過去10週推移
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科定点把握感染症の全国推移

京都市のデータは、2023年6月28日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

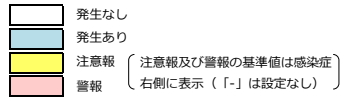
本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は紙面の都合等により、新型コロナウイルス感染症、COVID-19、COVIDと記載している箇所があります。

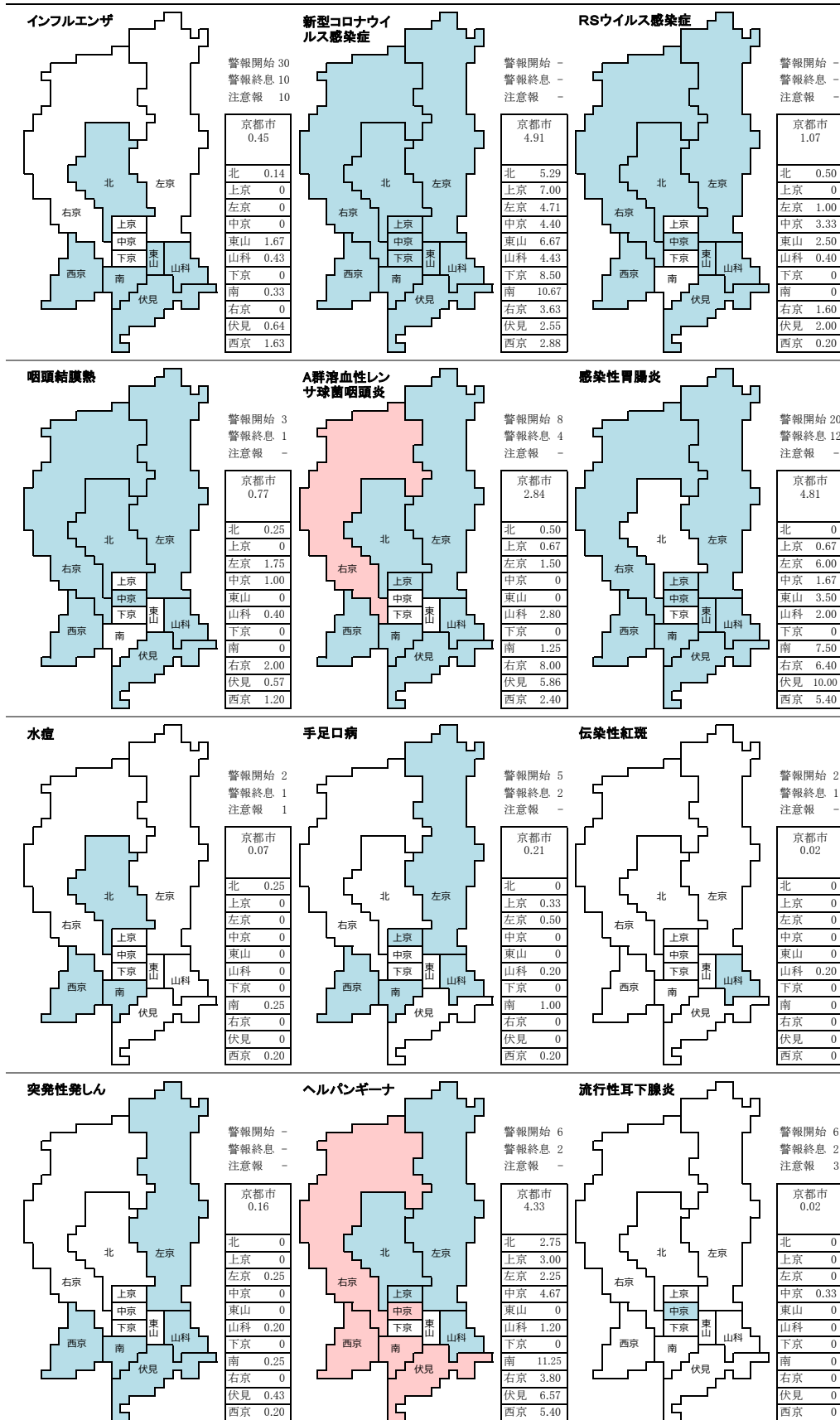
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2023年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図 【2023年 第 25 週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果であり、立地条件や規模の大小の影響を受ける場合があります。
 ※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に
 注意喚起することにより、広く一般に向けて発出されるものではありません。



2023年 全数把握感染症の月別発生状況（京都市）

集計期間：2023/1/1～2023/6/25

類別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 累計	2022年 累計(参考)
急性灰白髄炎（ポリオ）														
結核	14	17	22	21	20	12							106	215
ジフテリア														
2類 重症急性呼吸器症候群（SARS）*1														
中東呼吸器症候群（MERS）*2														
鳥インフルエンザ（H5N1）														
鳥インフルエンザ（H7N9）														
コレラ														
細菌性赤痢														1
3類 腸管出血性大腸菌感染症	1		8		3	2							14	23
腸チフス														
パラチフス														
E型肝炎				1									1	1
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
A型肝炎														1
エキノкокクス症														
黄熱														
オウム病														
オムスク出血熱														
回帰熱														
キャサナル森林病														
Q熱														
狂犬病														
コクシジオイデス症														1
エムボックス														
ジカウイルス感染症														
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）*3														
腎症候性出血熱														
西部ウマ脳炎														
ダニ媒介脳炎														
炭疽														
チクングニア熱														
つつが虫病														
デング熱														2
4類 東部ウマ脳炎														
鳥インフルエンザ（H5N1・H7N9を除く）														
ニパウイルス感染症														
日本紅斑熱					1	1							2	
日本脳炎														
ハンタウイルス肺症候群														
Bウイルス病														
B型肝炎														
鼻疽														
ブルセラ症														
ペネズエラウマ脳炎														
ヘンドラウイルス感染症														
発しんチフス														
ボツリヌス症														
マラリア														1
野兔病														
ライム病														
リッサウイルス感染症														
リフトバレー熱														
類鼻疽														
レジオネラ症	2		2		3	3							10	25
レプトスピラ症														
ロッキー山紅斑熱														
アメーバ赤痢	1	1											2	10
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）														2
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	2	1	2	1	3							11	41
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)														
急性脳炎*4	1												1	3
クリプトスポリジウム症														
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2			1								4	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			2		2	1							5	11
後天性免疫不全症候群	1			1	1								3	4
ジアルシア症														1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1			1	4								6	5
侵襲性髄膜炎菌感染症														
5類 侵襲性肺炎球菌感染症	4	2	2	3	2	2							15	28
水痘（入院例に限る。）				1	1	1							3	3
髄膜炎菌性髄膜炎														
先天性風しん症候群														
梅毒	3	11	12	8	16	3							53	95
播種性クリプトкокクス症														3
破傷風					1								1	2
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
バンコマイシン耐性腸球菌感染症						2							2	3
百日咳														3
風しん														
麻疹														
薬剤耐性アシネトバクター感染症						1							1	1
*5 新型コロナウイルス感染症*6	31,474	5,934	2,406	3,689	874								44,377	331,709

(*1)病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。(*2)病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。(*3) 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

(*4)ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。(*5)分類名は「新型インフルエンザ等」

(*6)病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

第25週(6月19日～6月25日)トピックス: <梅毒>

発生状況及び疾患

大都市では、昨年以降顕著に梅毒の発生が急増しています。

2022年の全国の報告数は、1999年に感染症法に基づく発生動向調査が始まって以来、最も多い13,225例でした。

京都市でも2022年は過去最多の95例が報告され、2021年の1.2倍となっています。本年は第25週の梅毒の報告は3例、累積報告数は53例となり、昨年同時期の50例を上回り、最も多い報告数となっています(図1)。

また、昨年の全国における性別及び年齢階級別の報告割合をみると、性別では男性が約66%、女性が約34%でした。更に年齢階級では、男性は20歳未満を除く各年代がそれぞれ15～17%と同程度であるのに対し、女性は20代が約20%と突出して多く、全体に占める割合が最も大きくなっています(図2)。

梅毒は、感染症法の分類では5類の全数把握感染症に規定されており、同法第12条で「診断した医師は7日以内に届出を行わなければならない。」とされています。

感染経路と症状

性的な接触(他人の粘膜や皮膚と直接接触すること)などによって感染します。

感染しても終生免疫は得られず、何度でも罹患します。

原因は梅毒トレポネーマ(*Treponema pallidum*)という細菌で、病名は症状の一つである赤い発疹が楊梅(ヤマモモ)に似ていることに由来します。梅毒では全身に様々な症状が出る場合があります。

梅毒に罹ると、3～6週間程度の潜伏期の後に、感染部に無痛性の初期硬結や硬性下疳がみられます。その後数週間～数カ月間を経過すると原因菌が全身へ移行し、皮膚や粘膜に発疹がみられるようになります。これらの初期症状はいったん消失し無症状となりますが、治療せずに放置した場合は、感染後数年～数十年後に心血管や神経などに症状が現れ、晩期顕症梅毒を引き起こすことがあります。

また、妊娠中の女性が感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡など、さまざまな症状や障害を起こす場合(先天梅毒)があるため、特に注意が必要です。母乳では通常感染しないとされています。

治療

治療にはペニシリン系抗菌薬が用いられます。アレルギーなどでペニシリン系が使えない場合は、他の系統の抗菌薬を用います。

予防

感染予防としては、不特定多数との性行為を避けることが最も重要です。また、完全ではないものの、コンドームを使用することで感染リスクを低下させる効果があります。

検査等について

早期の薬物治療で完治が可能です。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

感染の機会があれば、早めに検査を受けましょう。感染していても症状がないことがあるため、パートナーも一緒に受検することをお勧めします。

京都市では、HIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を無料・匿名(予約制)で実施しています。また、すでに症状のある方は、泌尿器科・婦人科・皮膚科等の医療機関に相談してください。

- 京都市広報「梅毒」の報告数が急増しています！

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000214471.html>

- 京都市のHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査については、下記のホームページをご覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html>

図1 京都市の月次累積報告数(2012年～2023年25週)

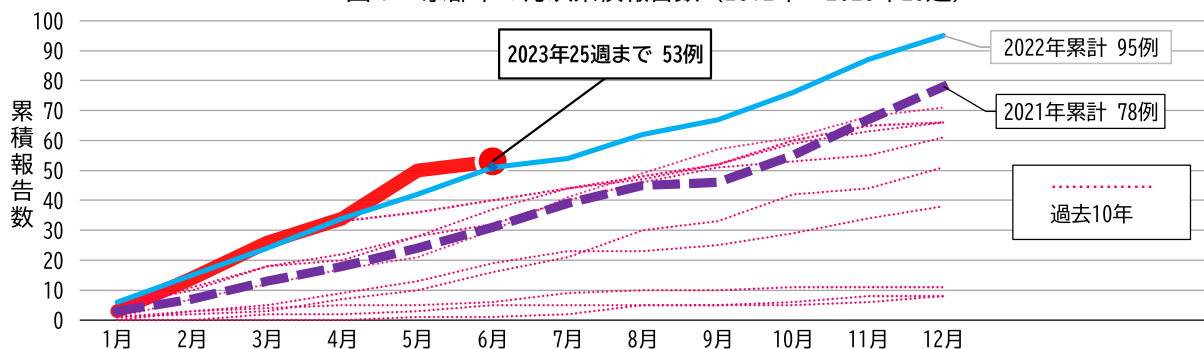
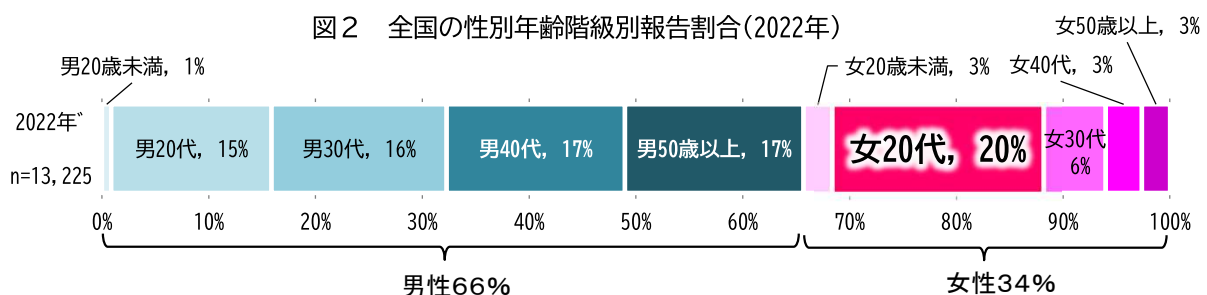


図2 全国の性別年齢階級別報告割合(2022年)



報告数		2023年 第25週（2023/6/19～2023/6/25）							データ取得日：2023年6月28日				
		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）	7	5	7	5	3	7	2	6	8	11	8	69
	（報告医療機関数）	7	5	7	5	3	7	2	6	8	11	8	69
インフル COV19	インフルエンザ（※ 1）	1	-	-	-	5	3	-	2	-	7	13	31
	新型コロナウイルス感染症（※ 2）	37	35	33	22	20	31	17	64	29	28	23	339
	小児科（定点医療機関数）	4	3	4	3	2	5	1	4	5	7	5	43
	（報告医療機関数）	4	3	4	3	2	5	1	4	5	7	5	43
小児科	R Sウイルス感染症	2	-	4	10	5	2	-	-	8	14	1	46
	咽頭結膜熱	1	-	7	3	-	2	-	-	10	4	6	33
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	2	6	-	-	14	-	5	40	41	12	122
	感染性胃腸炎	-	2	24	5	7	10	-	30	32	70	27	207
	水痘	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
	手足口病	-	1	2	-	-	1	-	4	-	-	1	9
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	突発性発しん	-	-	1	-	-	1	-	1	-	3	1	7
	ヘルパンギーナ	11	9	9	14	-	6	-	45	19	46	27	186
	流行性耳下腺炎	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	眼科（定点医療機関数）	1	1	1	2	...	1	...	...	1	2	1	10
	（報告医療機関数）	1	1	1	2	...	1	...	...	1	2	1	10
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	...	-	...	...	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	1	-	-	...	-	...	...	1	-	-	2
	基幹（定点医療機関数）	...	...	...	1	...	...	...	...	...	...	...	1
	（報告医療機関数）	...	...	...	1	...	...	...	...	...	...	...	1
基幹	細菌性髄膜炎（※ 3）	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	無菌性髄膜炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	マイコプラズマ肺炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-

定点当たり報告数		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
インフル COV19	インフルエンザ（※ 1）	0.14	-	-	-	1.67	0.43	-	0.33	-	0.64	1.63	0.45
	新型コロナウイルス感染症（※ 2）	5.29	7.00	4.71	4.40	6.67	4.43	8.50	10.67	3.63	2.55	2.88	4.91
小児科	R Sウイルス感染症	0.50	-	1.00	3.33	2.50	0.40	-	-	1.60	2.00	0.20	1.07
	咽頭結膜熱	0.25	-	1.75	1.00	-	0.40	-	-	2.00	0.57	1.20	0.77
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.67	1.50	-	-	2.80	-	1.25	8.00	5.86	2.40	2.84
	感染性胃腸炎	-	0.67	6.00	1.67	3.50	2.00	-	7.50	6.40	10.00	5.40	4.81
	水痘	0.25	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	0.20	0.07
	手足口病	-	0.33	0.50	-	-	0.20	-	1.00	-	-	0.20	0.21
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	0.02
	突発性発しん	-	-	0.25	-	-	0.20	-	0.25	-	0.43	0.20	0.16
	ヘルパンギーナ	2.75	3.00	2.25	4.67	-	1.20	-	11.25	3.80	6.57	5.40	4.33
	流行性耳下腺炎	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	0.02
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	...	-	...	...	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	1.00	-	-	...	-	...	...	1.00	-	-	0.20
基幹	細菌性髄膜炎（※3）	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	無菌性髄膜炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	マイコプラズマ肺炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-

※ 1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※ 2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※ 3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

報告数 2023年 第25週（2023/6/19～2023/6/25） データ取得日：2023年6月28日

インフルエンザ/COVID-19定点 （報告医療機関数69）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ（※1）	31	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	8	1	6	3	2	6	-	-	2
新型コロナウイルス感染症（※2）	339	1	-	4	3	1	4	-	2	1	-	2	27	41	59	34	31	41	32	27	29

小児科定点 （報告医療機関数43）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上
R Sウイルス感染症	46	10	7	10	12	4	1	1	-	-	-	-	-	1	-
咽頭結膜熱	33	-	2	13	3	2	2	5	1	3	1	1	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	122	-	2	6	10	15	14	17	17	6	9	6	11	3	6
感染性胃腸炎	207	1	11	23	19	21	18	26	23	12	9	7	18	5	14
水痘	3	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	9	-	-	1	1	2	3	1	-	1	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	7	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	186	-	14	46	36	30	25	20	5	4	2	-	3	-	1
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

眼科定点 （報告医療機関数10）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

基幹定点 （報告医療機関数1）	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎（※3）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎（オウム病除く）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点当たり報告数

インフルエンザ/COVID-19定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ（※1）	0.45	-	-	-	0.01	-	-	-	0.01	0.01	-	-	0.12	0.01	0.09	0.04	0.03	0.09	-	-	0.03
新型コロナウイルス感染症（※2）	4.91	0.01	-	0.06	0.04	0.01	0.06	-	0.03	0.01	-	0.03	0.39	0.59	0.86	0.49	0.45	0.59	0.46	0.39	0.42

小児科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上
R Sウイルス感染症	1.07	0.23	0.16	0.23	0.28	0.09	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-
咽頭結膜熱	0.77	-	0.05	0.30	0.07	0.05	0.05	0.12	0.02	0.07	0.02	0.02	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.84	-	0.05	0.14	0.23	0.35	0.33	0.40	0.40	0.14	0.21	0.14	0.26	0.07	0.14
感染性胃腸炎	4.81	0.02	0.26	0.53	0.44	0.49	0.42	0.60	0.53	0.28	0.21	0.16	0.42	0.12	0.33
水痘	0.07	-	0.02	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	0.21	-	-	0.02	0.02	0.05	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	0.16	-	0.02	0.12	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	4.33	-	0.33	1.07	0.84	0.70	0.58	0.47	0.12	0.09	0.05	-	0.07	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-

眼科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-

基幹定点	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎（※3）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎（オウム病除く）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。
※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

報告数		2023年 第15週 ～ 2023年 第25週										データ取得日：2023年6月28日	
		疫学週	15 (10週前)	16 (9週前)	17 (8週前)	18 (7週前)	19 (6週前)	20 (5週前)	21 (4週前)	22 (3週前)	23 (2週前)		
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）	68	68	68	68	68	69	69	69	69	69	69	
	（報告医療機関数）	68	68	68	68	68	69	69	68	69	69	69	
インフル COV19	インフルエンザ（※1）	55	32	34	20	22	31	19	36	30	21	31	
	新型コロナウイルス感染症（※2）					133	179	173	236	287	320	339	
	小児科（定点医療機関数）	42	42	42	42	42	43	43	43	43	43	43	
	（報告医療機関数）	42	42	42	42	42	43	43	42	43	43	43	
小児科	R Sウイルス感染症	55	108	103	70	63	70	75	52	80	64	46	
	咽頭結膜熱	2	5	9	4	10	20	24	15	16	24	33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	64	62	49	88	114	137	128	105	116	122	
	感染性胃腸炎	212	232	245	131	219	306	274	267	290	282	207	
	水痘	4	9	2	6	7	4	3	4	7	8	3	
	手足口病	-	5	3	6	4	9	4	9	7	12	9	
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	
	突発性発しん	9	11	7	9	9	12	14	8	8	11	7	
	ヘルパンギーナ	2	3	12	2	12	39	75	103	154	190	186	
	流行性耳下腺炎	1	1	1	1	1	1	3	1	2	-	1	
		眼科（定点医療機関数）	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
		（報告医療機関数）	9	10	9	10	10	10	10	10	10	10	10
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	流行性角結膜炎	7	4	2	1	1	-	3	2	1	-	2	
	基幹（定点医療機関数）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	（報告医療機関数）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
基幹	細菌性髄膜炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

定点当たり報告数

		疫学週	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
			(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
インフル COV19	インフルエンザ（※1）		0.81	0.47	0.50	0.29	0.32	0.45	0.28	0.53	0.43	0.30	0.45
	新型コロナウイルス感染症（※2）						1.96	2.59	2.51	3.47	4.16	4.64	4.91
小児科	R Sウイルス感染症		1.31	2.57	2.45	1.67	1.50	1.63	1.74	1.24	1.86	1.49	1.07
	咽頭結膜熱		0.05	0.12	0.21	0.10	0.24	0.47	0.56	0.36	0.37	0.56	0.77
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	1.52	1.48	1.17	2.10	2.65	3.19	3.05	2.44	2.70	2.84
	感染性胃腸炎		5.05	5.52	5.83	3.12	5.21	7.12	6.37	6.36	6.74	6.56	4.81
	水痘		0.10	0.21	0.05	0.14	0.17	0.09	0.07	0.10	0.16	0.19	0.07
	手足口病		-	0.12	0.07	0.14	0.10	0.21	0.09	0.21	0.16	0.28	0.21
	伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	0.05	0.02	-	0.02
	突発性発しん		0.21	0.26	0.17	0.21	0.21	0.28	0.33	0.19	0.19	0.26	0.16
	ヘルパンギーナ		0.05	0.07	0.29	0.05	0.29	0.91	1.74	2.45	3.58	4.42	4.33
	流行性耳下腺炎		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.07	0.02	0.05	-	0.02
眼科	急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎		0.78	0.40	0.22	0.10	0.10	-	0.30	0.20	0.10	-	0.20
	細菌性髄膜炎（※3）		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基幹	マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

インフルエンザ 全国推移（2023年）

警報開始：30 警報終息：10 注意報：10 流行期入目安：1

凡例：

0-1	1-5	5-10	10-30	30-45	≥45	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	------	-------	-------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国及び京都府は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

新型コロナウイルス感染症 全国推移（2023年）

警報開始：設定なし 警報終息：設定なし 注意報：設定なし

凡例：

						…(報告なし)	-(ゼロ)
--	--	--	--	--	--	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国及び京都府は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

RSウイルス感染症 全国推移（2023年）

警報開始：設定なし 警報終息：設定なし 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2.5	2.5-5	5-10	≥10	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-------	-------	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

咽頭結膜熱 全国推移（2023年）

警報開始：3 警報終息：1 注意報：設定なし

凡例：

0-0.25	0.25-0.5	0.5-1	1-3	3-6	≥6	…(報告なし)	-(ゼロ)
--------	----------	-------	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 全国推移（2023年）

警報開始：8 警報終息：4 注意報：設定なし

凡例：

0-1	1-2	2-4	4-8	8-12	≥12	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

感染性胃腸炎 全国推移（2023年）

警報開始：20 警報終息：12 注意報：設定なし

凡例：

0-3	3-6	6-12	12-20	20-30	≥30	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	------	-------	-------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

手足口病 全国推移 (2023年)

警報開始：5 警報終息：2 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2	2-5	5-10	≥10	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-----	-----	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

伝染性紅斑 全国推移（2023年）

警報開始：2 警報終息：1 注意報：設定なし

凡例： 0-0.25 0.25-0.5 0.5-1 1-2 2-4 ≥ 4 …(報告なし) -(ゼロ)

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52						
全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03																																	
北海道	-	-	0.01	-	-	-	0.01	-	-	0.01	-	-	-	0.01	-	0.01	0.01	-	0.03	-	0.03	0.02	0.01	0.02	0.01																																	
青森県	0.02	-	-	-	-	-	0.05	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	0.03	-	0.03	-																																	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	0.05	-	-	0.03																																	
宮城県	0.03	0.03	0.02	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	0.03	-	-	-	0.02	0.02	0.04	0.07	0.06	-	-	-	0.04	-	0.05																																	
秋田県	-	-	0.06	-	-	0.03	0.03	0.06	-	0.03	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-																																
山形県	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	-	0.04	-																																
福島県	0.02	0.04	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	0.04	0.02	0.04	0.06	-	-	0.06	0.02	-	0.08	0.06	0.02	0.04																																	
茨城県	-	-	-	-	-	0.01	0.01	-	-	0.01	0.01	0.03	-	0.01	-	-	-	0.01	0.01	0.04	-	0.01	0.01	0.03	0.45																																	
栃木県	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.04	-	0.04	-	-	0.06	-	0.02																																	
群馬県	-	0.04	-	-	0.04	0.02	-	0.08	-	-	0.04	0.02	-	0.02	-	0.04	0.06	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02																																	
埼玉県	0.01	0.01	0.02	0.01	-	0.01	0.03	0.01	0.01	0.03	-	0.01	0.03	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	0.03	0.04	0.02	0.02	0.02	0.01																																	
千葉県	-	0.01	-	0.01	-	0.01	0.01	0.02	-	0.01	0.02	0.02	-	-	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	-	0.02</																																					

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

ヘルパンギーナ 全国推移（2023年）

警報開始：6 警報終息：2 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2	2-6	6-9	≥9	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-----	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

流行性角結膜炎 全国推移（2023年）

警報開始：8 警報終息：4 注意報：設定なし

凡例：

0-1	1-2	2-4	4-8	8-12	≥12	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)